

# みなとMOIOMACHIケンチクさんぽ vol.17

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部  
兵庫地域会 地域まちづくり委員会

## 栄町通を西から歩いてみた



HDCと神戸クリスタルタワー

秋晴れの土曜日の朝、栄町通を神戸駅の方から大丸に向かって歩いてみました。

栄町通の西側はハウジングデザインセンター(HDC)と神戸クリスタルタワーという2つのガラス張りのビルから始まります。HDCの方は少しクラシカルな意匠を取り入れたガラス張りの建物。夜になるとライトアップが綺麗です。クリスタルタワーの方は、まさにシンプルなガラス張り、天気の良い日は青空に溶け込むダイナミックなデザインです。次は新しくできた、サンテレビの社屋とホテル、落ち着いた色調で素敵な街並みを形成しています。

ポストモダン調のハローワークを横目に見ながら、少し東に向かって歩いていくと、段々とクラシカルで重厚な意匠をまとったオフィスやマンションが増えてきます。おそらく、この地に古くからある、旧三菱銀行神戸支店(1900年竣工 設計:曾禰達蔵)の影響かと思われる。当の歴史的建造物は2016年に解体されたものの、タワーマンションの外壁として復元保存され、街並みに存在感を示しています。



旧三菱銀行神戸支店

## ハーバーロードを通過

筋向いにはガラスとタイルを使った現代的な意匠の神戸中央郵便局、旧通信省の設計の流れを汲む郵便局やNTTの建物には端正なデザインのものが多いです。斜め向かいに旧帝国生命神戸出張所(1921竣工 設計:清水組)。現在はおしゃれなおにぎり屋

さんになっています。

しばらくオフィスとマンションが混在する街並みが続きます。意外なぐらい店舗が少ないのはすぐ北側が元町商店街だからなのでしょう。マンションもオフィスも少し凝った作りのものが多く感じます。おとなしめで上品な感じはさすがは神戸。オーナー、ディベロッパー、そして設計者に知性を感じます。



神戸中央郵便局



旧帝国生命神戸出張所

旧第一銀行神戸支店(1908年竣工 設計:辰野金吾)、東京駅の設計で知られる辰野が設計した赤煉瓦と白い石のコントラストが鮮やかな建物です。残念ながらファサードだけが残され、地下鉄みなと元町駅の入り口として使われ、北側部分はマンションとなっています。この残し方には賛否両論あるとは思いますが、まったくなくなってしまうことを考えれば良かったのではないのでしょうか。



旧第一銀行神戸支店

旧横浜火災海上保険会社神戸支店(1925竣工 設計:河合浩蔵)。この建物もファサードが残され、1階をフルーツパー

ラー、上階を新聞社のオフィスとして使われています。

明治後期から大正にかけて建てられたこれらの重厚な建築は、かつて東洋のウォール街と呼ばれた時代を彷彿とさせ、それにリスペクトされた現代建築とともに、栄町通の格調高い街並みを成り立たせています。

半面、この地域には高度経済成長期のモダニズム建築の名品が少なく、ポートタワー(1963年竣工 設計:日建設計)以外見当たりません。

## タワーロードを通過

栄町4丁目の交差点あたりからは街並みに賑わいが増えてきます。オフィスやマンションの1階部分は店舗になっていて、人通りも多くみられます。営業中の銀行もそこかしこにあります。街灯やバス停のデザインはレトロな港町をイメージするデザインです。歩道の仕上げや街路樹が少し平凡な感じがするのが残念。港のもやい杭のイメージでしょうか、石製の車止めがとても可愛いです。



レトロなストリートファニチャー

旧第一勧業銀行神戸支店(1916 設計:長野宇平太)は阪神大震災で倒壊し、今はタワーマンションが建っています。これは少し旧建物への理解とリスペクトが薄いです。

南京町の南側の入り口、海楽門の隣には天然温泉を売りにする大きなホテルができました。

そしてついに東の端、栄町通1丁目の交差点まで歩いてきました。左に大丸、右に農業会館が望めます。角にあった旧住友銀行神戸支店(1934 設計:長谷部鋭吉)は2014年に解体され、今は駐車場として運営されています。この地にどんな建物が建つのかどんな街並みになるのか、楽しみでしかたありません。



山岡 哲哉(やまおか てつや)

山岡哲哉建築設計事務所 代表  
2001-乙仲通の栄町ビルディングにて建築設計活動  
日本建築家協会近畿支部兵庫地域会  
地域まちづくり委員長